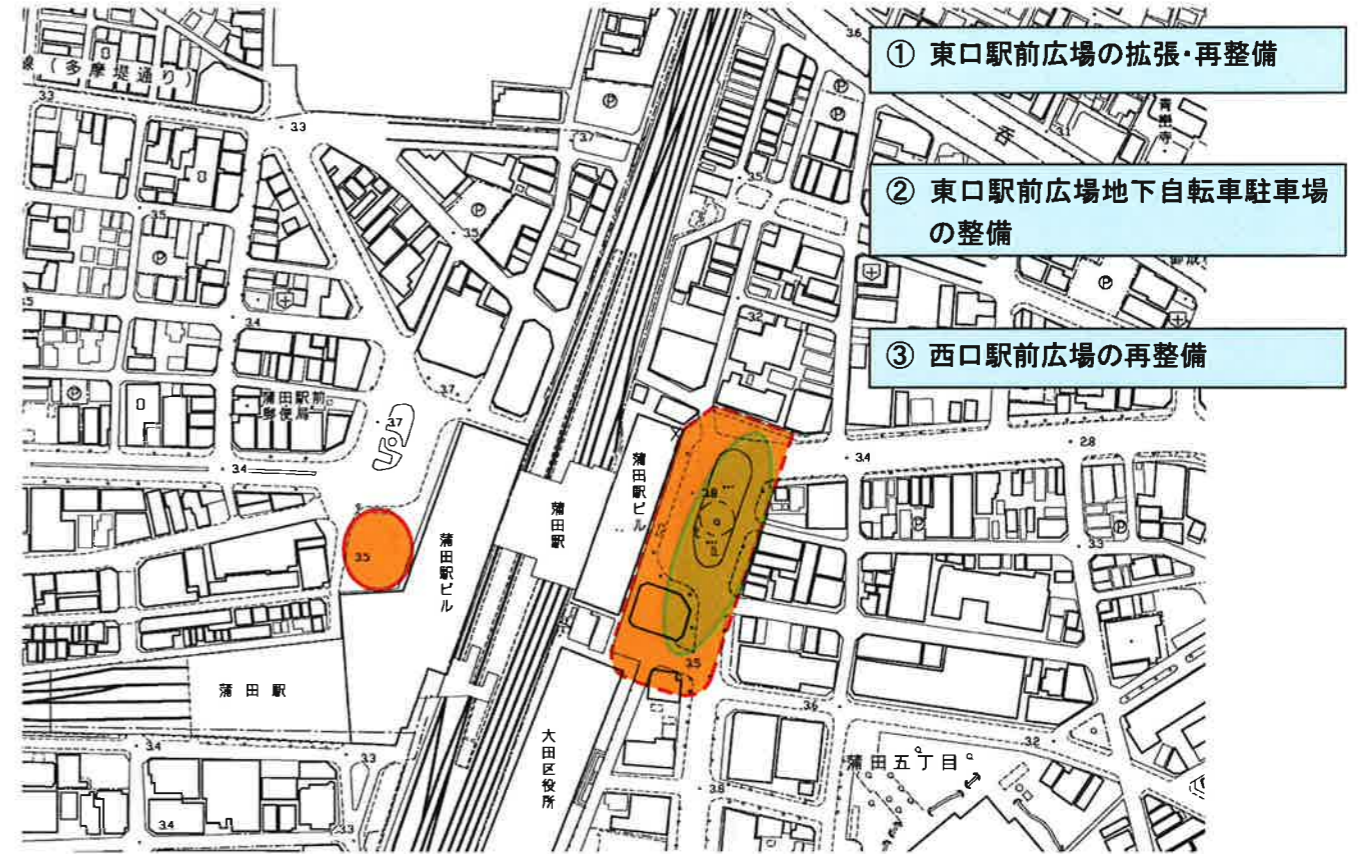


初動期での取り組み(概ね5年程度)

早期に解決することが望まれる課題に対し、行政主体で進められる基盤整備事業に着手

(主な整備内容)

- ①東口駅前広場の拡張・再整備  
早期の課題解決が求められるバス乗降場等の再配置、歩行者環境の改善など利便性向上を図るため、東口駅前広場を南側に拡張し駅前広場全体を再整備する。
- ②東口駅前広場地下自転車駐車場の整備  
東口駅前広場の地下に自転車駐車場を整備し、補助36号線や駅街路2号線などの主要な自転車アクセスルートには安全な自転車走行環境を整備する。
- ③西口駅前広場の再整備  
円滑な歩行者動線とするための広場スペースのフラット化を図り、誰もが使いやすい駅前広場に再整備する。



中長期での取り組み(概ね5~20年程度)

駅ビルを含めた駅周辺の再整備を促進することで駅前広場の更なる機能向上、自転車駐車場や、東西自由通路の整備を図る

(主な整備内容)

- ①駅前広場の歩行者環境の向上  
駅舎・駅ビル、駅周辺街区の更新に合わせた歩行者空間確保や、駅前広場の立体利用も視野に入れた自由通路と連続した歩行者ネットワークの形成を行い、歩行者環境の向上を図る。
- ②新空港線「蒲蒲線」整備を契機とした駅前広場機能の拡充  
新空港線「蒲蒲線」整備に伴い、東口では周辺街区との連携による駅前広場拡張、西口では駅前広場機能の再配置により、駅前広場機能の充実を図る。
- ③駅舎・駅ビルの機能更新等に合わせた自由通路の整備  
駅舎・駅ビルの機能更新等に合わせた自由通路の整備を行い、駅東西間の回遊性、災害時も含めた連絡性を強化する。
- ④東口・西口駅前広場の駅周辺街区の更新  
老朽化が進む建築物の機能更新により地区の防災性や利便性を高めるとともに、地区計画制度の活用などにより駅周辺の歩行者環境の向上、自転車駐車場の確保などを行う。

